

授業科目名	教養演習Ⅰ・b			科目コード	G6501L02
英文名	Freshman SeminarⅠb				
科目区分	教養科目 - 教養演習科目				
職名	教授	担当教員名	渡部 恵子		
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	演習		
必修・選択	学部必修	単位数	2単位		
授業の概要	教養演習Ⅰは「1年ゼミ」とも呼ばれます。1年ゼミ（ゼミナール）は、年間を通して、少人数で、大学生活を送るために必要なスキル（アカデミック・スキル）を修得することを主なねらいとして行われます。通常の授業（講義）とは違い、学生の発表や意見交換・討論に重点を置いた運営がなされます。ゼミ担当教員は、アカデミック・アドバイザーと称され、勉学面での指導はもちろん、大学生活全般にわたるアドバイスなどを行います。なお、基本的には下記の「授業計画」に従った進行となりますが、必要に応じ、前後の順番や実施内容が変更になることもあります。				
キーワード	①ゼミナール	②アカデミック・スキ	③アカデミック・アド	④ゼミ報告	⑤ゼミ討論
到達目標	①新聞、Web上の記事、概説書などを読み、内容を理解することができる。（30%）				
	②発表用のレジュメ（要旨を記載した文書）やレポート作成の技法や効果的な発表資料作成の技法を身につけ、その技法を使って表現できる。（40%）				
	③他のゼミ生の発表を聞き、その内容を理解するとともに、発表に対する質問やコメントを行うよう努力し、ゼミ討論に積極的に参加することができる。（30%）				
ディプロマポリシー	1.「人」としての能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	①学生の基礎的能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○				
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	後期教養演習Ⅰ（ゼミ）のガイダンス ・後期の履修指導、各自の時間割作成など。	
	【予習】 予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
	【復習】 予復習については、ゼミ担当教員が個別のゼミ内容に応じて、適宜、指示する。2回目以下も同じ。	
第2回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	大学祭展示の準備を行う、またはアカデミック・スキルの向上を図る	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	合同教養演習Ⅰ ・就職試験対策ブレ講座：SPI基礎模擬テスト（実施時期については変更可能性あり。）	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	北日本新聞連携講座（2～3ゼミごとに1回ずつ、以降、計4～6回にわたって実施。実施時期の詳細は未定。） アカデミック・スキルの向上を図る（北日本新聞連携講座の順番でないゼミ）	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表または発表に向けた準備を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	アカデミック・スキルの向上を図る ・各ゼミで、学生の発表や討論等を行う。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	1年のまとめ ・この1年の振り返り：身に付いた「力」は？ ・後期末試験に向けて、等	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出欠状況とゼミへの参加姿勢（60%）、ゼミでの発表内容および期末レポート（40%）によって成績評価を行います。ただし、その配点割合は原則的な「標準」であり、ゼミによって異なる場合があります。 なお、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	『大学生のためのツールブック2021』	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて、各ゼミ担当教員が指示します。
授業外学修等	新聞を読む習慣を身につけましょう。発表準備のために、図書館を利用する（図書館の蔵書を検索し、必要な文献を探し出して読む）努力をしてください。		
授業外質問方法	各ゼミの担当教員から伝えられますので、それに従ってください。		
オフィス・アワー	教員ごとに異なりますので、ゼミ担当教員に尋ねてください。		